

祖父母・父母世代の子育て観の変化が
現代の子どもの遊び空間に与える影響
—富山県射水市大門地区を事例として—

12210119 中田彩水

目次

- | | |
|--|--|
| <p>I. はじめに</p> <p>1. 子どもの遊びの時代変化の現状</p> <p>2. 子育て観の既存研究の整理</p> <p>3. 研究目的</p> <p>4. 調査対象と調査方法</p> <p>II. 子育て観の変化と子どもの生活空間に関する実態分析</p> <p>1. 子どもの行動に対する養育態度</p> <p>2. 家族や近所との社会的関わり</p> <p>3. 習い事への関与</p> | <p>III. 考察</p> <p>1. 祖父母・父母世代の子育て観の変化</p> <p>2. 子育て観の変化が現代の子どもに与える影響</p> <p>3. 遊び空間の縮小の常態化</p> <p>4. 現代の子どもにおける生活空間の肯定的評価</p> <p>IV. おわりに</p> <p>...</p> |
|--|--|

1

2

I . はじめに

1. 子どもの遊びの時代変化の現状

🎓 大西(1998)

岐阜県羽島市における子どもの生活空間の3世代間の変化を調査

結果：遊び空間、時間、仲間の規模が世代が進むにつれ減少

→3世代で大きな違い

要因：土地利用や習い事等のドメインの増加等が要因

🎓 石崎、大西(2010)

富山県南砺市飛騨屋地区を事例に、子どもの遊び空間がどのように時代と

ともに変化してきたかを3世代区分を通じて分析

結論：遊び空間、時間、仲間の規模が世代が進むにつれ減少

要因：生活様式の変化、少子化などの複合的要因

3

4

1. 子どもの遊びの時代変化の現状

🎓 昨年度フィールド演習

- 射水市大門において子どもの遊び空間・時間の時代変化と要因を調査
- 時代変化に関する既存研究と同じ傾向
- 親世代と現代の子ども世代で大きな差が見られず…

「安全への配慮」や「習い事への投資」等の
子育てにおいて重視する意識や価値観の在り方に
2世代間で大きな差がある可能性が示唆

5

2. 子育て観の既存研究の整理

田邊、米澤(2009)

- 母親の被養育経験などが、母親と子どもとの関係において愛着形成の世代間伝達が存在するのか、母親と子どもを取り巻く環境がどのように関与しているのかを検討
- 養育機関からの支援、子育てに関する積極的な活動、子育て支援、子どもとの情緒的信頼関係が母子の愛着形成に寄与する。

親自身が育ってきた環境やその心理的影響

6

2. 子育て観の既存研究の整理

高橋(2020)

- ギャルママが、中流の価値観とは異なる価値観を共有するサブカルチャー集団として、その子育てに対する意識を検討
- ギャルママは、子どものやりたいことを尊重し、様々な経験を通じて自律性や社会性を育むことを重視している傾向が強い
- ギャルママに共有されている

価値観が子育てや子どもの教育に影響

中原(1978)

- 子どもの遊びに対して好意的である母親は、遊びについての概念が広く、反対に非好意的である母親は、概念が狭いであろうという仮説を検証
- 好意度群と概念の広さ群の関係において両群間に有意な関係が検出され、非好意群の母親は、日常行動を「遊び」とみなす割合が有意に少なかった

親の「遊び」に対する考え

→子どもの「遊び」の捉え方に影響

7

2. 子育て観の既存研究の整理

船ヶ山ら(1994)

- 親、幼稚園教諭、体育教室の指導者の子育てや教育についての捉え方や考え方、あそびや運動に関する考え方、運動の捉え方の実態を明らかにし、比較検討
- 運動の捉え方に関して～
- 自ら運動は嫌いであり、苦手であると答えた親や幼稚園教諭の存在
- 子どもと一緒に遊ばない親や幼稚園教諭をうみだし、結果として

今日の幼児の発達に問題を投げかけている

子育て観は子どもの遊びに影響を与える

子育て観は単なる考えにとどまらず

子どもの物理的な遊び空間や行動を規定する要因の一つ

8

3. 研究目的

01

祖父母世代と父母世代の子育て観がどのように変化したかを明らかにする

02

子育て観の差異が、子どもの遊びや生活空間に与える影響を明らかにする

03

世代間の遊びに大きな差が見られなかった原因は何かを明らかにする

環境を規定する「子育て観」の視点から現代の子どもの在り方を捉え直す

9

調査対象：富山県射水市大門

対象：放課後児童クラブ「風の子学級」

祖父母世代 (1950s-70s)
男性：1名/女性：6名

父母世代 (1980s-2000s)
男性：10名/女性：6名

現代の子ども (2010s)
男性：11名/女性：11名

調査方法

聞き取り、アンケートにより調査

- ・子どもの行動に対する養育態度
- ・家族や近所との社会的関わり
- ・習い事への関与

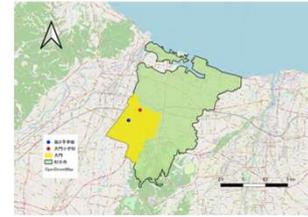


図1 調査対象地 (国土数値情報により作成)

10

Ⅱ. 子育て観の変化と子どもの生活空間に関する実態分析

11

項目① 子どもの行動に対する 養育態度

12

1. 子どもの行動に対する養育態度

Q1. 子育てで重視すること何か？

表1 子育てで重視すること 単位(人)	
父母世代	祖父母世代
自由に遊ばせる(8)	安全を優先(3)
安全・健康面を配慮(7)	自由に遊ばせる(2)
多くの経験を積ませる(1)	何かに興味をもってほしい(1)
嘘をつかない(1)	人に迷惑をかけない(1)
考える遊び(1)	子育てより学校の様子が気になる(1)

聞き取り、アンケートにより作成(複数回答有)

自由と安全の双方を重視

13

1. 子どもの行動に対する養育態度

Q2. 子どもだけでどこまでの距離遊びに行かせるか？

表2 子どもだけで遊びに行かせる距離 単位(人)	
祖父母世代	父母世代
校区内(3)	行かせない、親同伴(11)
制限なし(1)	友人の家(数百メートル)(2)
集落の中(1)	町内(1)
自宅の班の中(1)	児童館(1)
	隣自治会(1)

聞き取り、アンケートにより作成

数km圏内→数百mへ 空間の縮小

14

1. 子どもの行動に対する養育態度

Q3. 屋内・屋外どちらの遊びを好むか？

■ 屋内で遊ぶ ■ どちらも同じくらい ■ 屋外で遊ぶ ■ 分からない

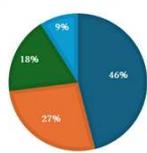


図2 屋内・屋外遊びの嗜好

聞き取りにより作成

約7割が屋内遊びを好む



屋内派：外は危険



屋外派：

近隣に遊ぶ友人がいない

外で何をしたらよいかわからない

15

1. 子どもの行動に対する養育態度

親の介入を条件→行動範囲の広がり

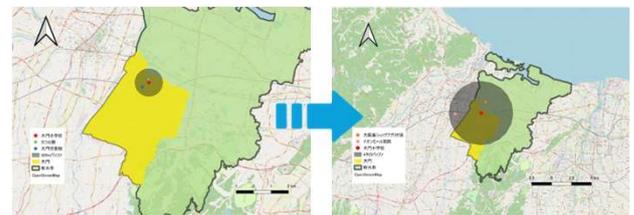


図3 行動範囲の変化(国土数値情報により作成)

図4 親が同伴する場合の行動範囲(国土数値情報により作成)

16

項目② 家族や近所との社会的関わり

17

2. 家族や近所との社会的関わり

Q1. 近所との交流頻度

表3 近所との交流頻度		単位(人)
祖父母世代	父母世代	
多い(4) (週1回以上)	ほどほど(月数回)(7)	
ほどほど(月数回)(1)	無し(5)	
無し(1)	多い(3)	
昔に比べると減少(1)		
聞き取り、アンケートにより作成		

近隣住民との交流の減少

「ママ友」のコミュニティの形成
例：習い事の送迎分組、家族ぐるみのレジャー

18

2. 家族や近所との社会的関わり

Q2. 近所との関わり具合(現代の子ども)

表4 近所との関わり		単位(人)
現代の子ども		
挨拶をする程度(9)	4人中3人 周囲に昔からある家が多い	
ほとんど関わらない(7)		
野菜を分けてもらえる(2)		
犬を触らせてもらう(1)		
登校ついてきてくれる(1)		
分からない(3)		
聞き取りにより作成(複数回答有)		

・転居を機に新たな繋がりを得た
・近隣農家との交流の継続

近所付き合いが深い子ども
一昔からある家が多い地域に
集中する傾向

19

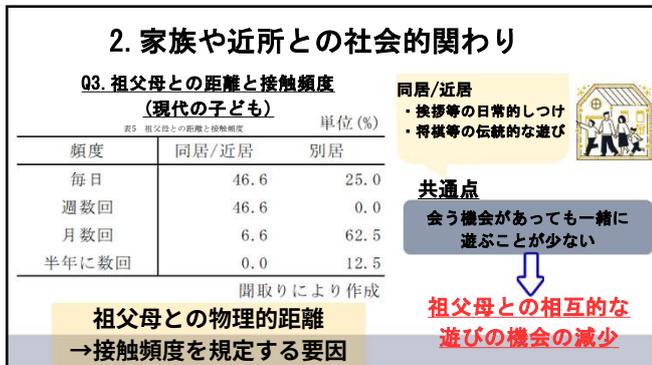
2. 家族や近所との社会的関わり

近所付き合いの地域差に関する論文・データ

①山根・三垣(2023)
都市(広島市)と農村(神石高原町)で、地域活動への参加頻度、近所付き合いの広さ、自治会への意識に明確な差異

②厚生労働省より引用したデータ

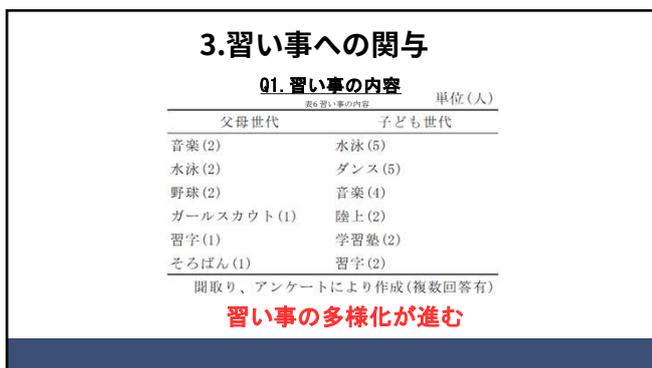
20



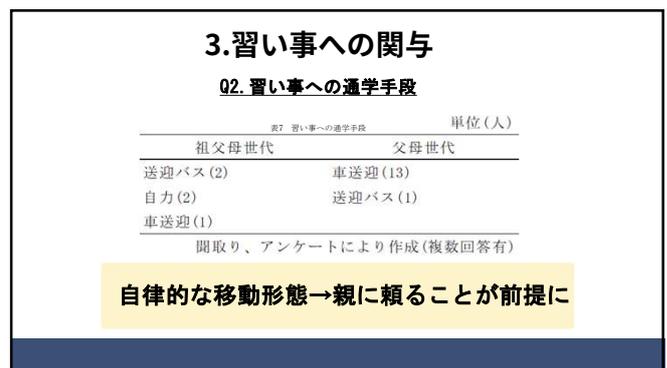
21



22



23



24

3.習い事への関与

Q3. 習い事を始めた動機

	表8 習い事を始めた動機			単位(%)
	本人の希望	両親の希望	知人の紹介・影響	
祖父母世代	50.0	25.0	25.0	
父母世代	31.3	62.5	6.3	

開取り、アンケートにより作成(複数回答有)

子ども本人の希望→両親の意向

25

3.習い事への関与

Q4. 習い事に対してどう捉えているか？

(現代の子ども)

表9 習い事に対する捉え方	単位(人)
現代の子ども	
楽しい(11)	
もっと遊ぶ時間が欲しい(5)	
大変(2)	
したくない(2)	

開取りにより作成(複数回答有)

市内外の他校の子どもと
繋がる機会に

一定の強制性を持っている可能性

26

Ⅲ. 考察

27

1. 祖父母・父母世代の子育て観の変化

最大の特徴：親の管理的な態度の著しい高まり

地域関係の希薄化と地域の変容

地域社会の在り方の変化

「見守りの場」→
危険が潜在する不透明な空間



親の防衛本能を刺激

放課後活動(習い事)における実態

地域の見方の変化

教育投資志向の
強まり



親の関与の
「構造的必須化」

28

子育て観の変化が現代の子どもに与える影響

機会の減少

親の介入強化により、外遊びや異世代（祖父母・近隣）との関わりが減少

質の変容

- ・屋内での「用意された娯楽（ゲーム・YOUTUBE）」へ
- ・自発的に遊びを創出する能力の低下
- ・遊びの世代間伝承を困難に

29

子育て観の変化が現代の子どもに与える影響

仙田・岡田(1993)

「図-5 第2次調査における変化の構造(遊び環境変化の循環)」

遊びを伝える人の不在
↓
遊び方法の貧困化、
ゲームの出現などの外遊びの魅力の低下
↓
子どもが遊びに熱中する機会の喪失
↓
遊びの意欲が喪失

本調査：「外で何を遊んでいたらいいかわからない」という現状に起因

30

子育て観の変化が現代の子どもに与える影響

外部環境による影響

- ・物理的・社会的要因：不審者情報の増加や少子化の進行による遊び環境の物理的な縮小
- ・メディアの普及：ゲームやYOUTUBEが子どもの嗜好を屋内へと誘引
- ・空間的要因：土地利用の変化やドメインの増加（大西，1998）

→直ちに子どもの行動を決定づけるわけではない

実態：
「自由に遊ばせたい」という理想をもちつつも数百メートル範囲内での管理や送迎を徹底する

↓

物理的・社会的な多様な側面の影響を受けつつも、
子どもの遊び空間を容容させる最終的な決定要因は「子育て観」というフィルター

31

3. 遊び空間の縮小の常態化

棚橋(2002)

2000年頃の子どもの遊びに関して ←親世代が子ども時代を過ごした世代に該当

- ・戸外遊びが急減
- ・自然遊び、昔からの遊びが減少
- ・ファミコン・テレビゲームが約半数

「外遊びの減少」概念化

屋内化かつ遊び空間の縮小が進行 → 父母世代が戸外での伝承遊びの経験不足 → 外遊びのノウハウの継承構造的に困難

32

4. 現代の子どもにおける生活空間の肯定的評価

- ・ 親の介入度の高まり : 単なる制限ではなく、生活空間を広げ
新たな交流を生み出す
- ・ メディア (ゲーム等) : 外出のきっかけや友人関係を維持する
ツールとして機能



現代の子ども・・・

リスク社会に適応した現代の子どもならではの生活空間が形成

33

IV. おわりに

34

おわりに

🎓 子育て観と遊びの変化

- ・ 「**地縁の放任**」→「**家庭の管理**」へ変化
- ・ 遊びは受動化した¹⁾が、外遊びの減少は親世代から既に進行

🎓 現代の人間関係の構築

人間関係構築の一要因は、「**親の介入度の高さ**」
学校や地域を越えた広域な交友関係が形成

🎓 結論

現代の子ども...

親の関与を前提に、安全が担保された環境で行動範囲を広げる

35

参考文献

- ・ 石崎重雄・大西宏治2010. 習志野農村における子どもの遊び空間の世代間変化—南習志野農圃の事例—, 習志野農村地域研究所研究紀要第27号:31-38.
- ・ 大西宏治1998. 岐阜県羽島市における子どもの生活空間の世代変化. 地理学評論71A:679-701.
- ・ 仙田真・岡田英紀1993. 子どものあそび環境の構造的变化に関する研究—横浜・山形における縦年比較調査による—. 都市計画論文集28:763-768.
- ・ 高野孝典2020. ギャルママの子どもに対する期待と子育ての方針—教育を含む子育て実践に着目して. 家族関係学第39巻:29-41.
- ・ 藤嶋風子2002. 健康問題からみた子どもの遊びの課題に関する一考察. 慶知道徳大学論集—文化創造学部—第2号:115-126.
- ・ 田邊泰子・米澤好史2009. 母親の子育て観からみた子どもの発達形成と世代間伝達 : 母親像に着目した子育て支援への提案. 和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター紀要19:19-28.
- ・ 中原弘之1978. 子どもの遊びと親子関係(1) (発達18, 研究発表). 日本教育心理学会発表論文集20巻:304-305.
- ・ 船ヶ山裕子・中村和彦・相田隆1994. 現代における幼児の遊び・運動経験: 質, 幼稚園教諭, 指導者のとらえ方, 考え方 (07, 発育発達, 一般研究発表). 日本体育学会大会45巻:411.
- ・ 谷田部幸子1982. 定家積成が子どもの発達に及ぼす影響 : 三世代家族と核家族の比較 (家族関係と子どもの発達, 発達). 日本教育心理学会発表論文集24(0):84-85.

36

